



パートナー契約を結んだ学校法人光星学院の法官新一理事長（中央）とヴァンラーレ八戸の下平賢吾社長（右）、新井山祥智＝八戸学院大学会館

光星学院とヴァンラーレ八戸 パートナー契約締結

八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）は27日、サッカーJ3のヴァンラーレ八戸とオフィシャルパートナー契約を結んだ。プロスポーツチームとの契約は初で、期間は来月1日から1年間。ヴァンラーレのホーム戦では、同市のプレイヤーフーズスタジアムに法人名を記した「ピッチボード」が設置される。

八戸学院大学会館で開かれた締結式には法官理事長と、ヴァンラーレの下平賢吾社長、新井山祥智が出席。法官理事長は新井山が同大

のOBであることを踏まえ、「クラブの活躍は本学の大きな励み。今後は学院を挙げて応援していく」と決意を述べた。

同学院ではこれまでも、八戸学院光星高や八学野西高のサッカー部員らが、ボール拾いや担架係としてヴァンラーレのホーム戦の補助をするなど、クラブの運営に携わってきた。新井山は「サポートへの恩を忘れず、今季は結果で恩返ししたい」と力を込めた。

（上村公悟）